

「泗水っ子のちかい」を守り、みんなが気持ちよく生活できるように

今の学年での授業日は残り11日になりました。6年生は、3月23日（水）に卒業式を控え、卒業に向けた取組や卒業式練習にラストスパートの状況です。他の学年も、次の学年でいいスタートが切れるように学習のまとめに励んでいます。

これから、年度末・年度始めを迎え、卒業式や入学式など大切な儀式的行事を控えています。そこで、もう一度、「泗水っ子のちかい」の内容を確認し、児童に守っていただいて、みんなが気持ちよく生活できるように、ご協力をお願いします。

さて、「泗水っ子のちかい」の中に、このような項目があります。

●「髪を染めたり、脱色したり、パーマをかけたりしません。」

この他にも、化粧、ピアス、付け爪をして登校している児童がいました。本人や保護者をお願いをし、改善していただいた方もいますが、そうでない方もいます。

髪染めやパーマ、化粧、ピアスなどは、成長期で皮膚が薄く、デリケートな小学生の体には、化学物質による副反応などにより、将来にわたってアレルギー反応が出るリスクが高くなるなど、危険であると言われています。また、学校は集団生活を送る場ですので、このような行為は、周りの児童へも次々にエスカレートしていき、收拾がつかない学校になってしまう可能性があります。さらに、犯罪心理学の観点から、小学生でこのような外見をしていることで、犯罪に巻き込まれる危険性が高くなることも指摘されています。

学校は、「学ぶ場」です。小学生段階で守っていただきたい最小限のことを「泗水っ子のちかい」には挙げています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、お尋ねやご相談等がございましたら、学校にご連絡ください。

☆校長室から独り言⑧☆

「春…出会いと別れ、そして旅立ちの季節」

先週、3月4日（金）は泗水中の卒業式でした。小学校と同様、来賓の出席はなしで、卒業生と保護者、教職員のみのお出でで行われたとのこと。校長として祝詞を贈らせていただきました。公立高校後期選抜の合格発表が3月7日（月）になり、以前より1週間ほど早くなったため、卒業式も早くなりました。泗水中卒業生のそれぞれの進路でのご活躍を心から願っております。

さて、この季節になると、息子が高校を卒業して東京の大学に進学した6年前を思い出します。妻と上京して、息子が入る寮に荷物を運んだり、部屋に必要なものをホームセンターに買いに行ったりしました。引っ越しが済んで、その日の夜は池袋で3人でご飯を食べましたが、息子は寮の門限までに帰らなければなりません。不安そうな息子に「頑張れよ!」と言葉をかけ、池袋駅で見送ったときの息子の後ろ姿が忘れられません。もちろん隣りで妻は泣いていました。あの日が息子の親離れ、私達の子離れの瞬間だったんだなあと思います。

泗水小の子どもたちにも、必ずその瞬間はやって来ます。そのときまでにどう育てるかだと思います。私の経験上、あっという間にそのときは来ると思います。

春の暖かさ…落ち着いた生活を

このところ、春の暖かさを感じる日が多くなりました。学校は学年末を迎え、学習のまとめやお別れの行事などが多く、いつもとはちょっと違う雰囲気になります。

しかし、こういうときこそ、落ち着きがなくなり、事件や事故が発生する可能性が高くなります。学校でも常に危機意識をもつよう指導していますが、各ご家庭でも、基本的な生活習慣を崩さないことや交通事故の防止等、ご指導をよろしくお願いします。

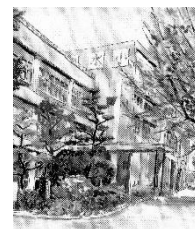
熊本県は、「まん延防止等重点措置」が三月二十一日（月）まで再延長されました。前回号でお知らせしていた「読み聞かせ」が中止になるなど、行事の中止や実施方法の変更もあります。

新型コロナウイルスの感染状況は、まだまだ油断ができない状況です。感染対策を継続しながら、学年末の学習のまとめをしっかり指導したいと思います。



校訓

なかよく
しんげんに



菊池市立
泗水小学校
学校だより
第25号
R4.3.8

発行
校長
工藤竜一

学校教育目標

「仲良く」「強く」「真剣に」学ぶ泗水っ子の育成
「そぞろえる」「続ける」チーム泗水・

オール泗水を通して